



成田ロータリークラブ 週報



国際ロータリー2016～17年度会長 ジョン F. ジャーム

第2740回例会 平成29年3月10日(金)

月桂樹例会



- ◇ 点 鐘 石川 憲弘 会長
- ◇ ロータリーソング 奉仕の理想
- ◇ 四つのテスト 甲田 直弘 会員
- ◇ お礼 菊地 貴 会員



先月私の父が亡くなりまして、クラブの方々には多大なお心遣いを頂戴いたしました。父の意向で家族葬という形をとらせていただきましたので、縁のある方やお世話になった方にご連絡できていない部分もあります。生前、色々皆様にお世話になりました。この場をお借りして皆様にお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

いました。

- ◇ お客様紹介
成田コスモポリタンロータリークラブ
池田 和彦 様



- ◇ ニコニコボックス



吉田 稔 会員: 昨日3月9日、長女が二人目の子供を出産し私にとっても二番目の孫が誕生しました。同日、東京の品川プリンスホテルで駒沢大学の三大駅伝報告会に参加してきました。三大駅伝とは出雲駅伝、伊勢駅伝、箱根駅伝です。300人以上の方々が集まりました。後援会長をやっている関係で鏡割りのメンバーに指名されステージに上がりましたところ、中央に置かれた樽酒の銘柄がなんと長命泉！！めでたい日に東京の品川プリンスでありながら成田の長命泉に

巡り会え、大変驚くと同時に嬉しくなりました。



小泉 英夫 会員：3月7日～8日、町内会の視察に行ってきました。設楽さんが理事長をつとめる花崎町商店街振興組合と私が会長をしております花一参道街づくり協議会の合同視察でございました。街づくりなどを見てくるのはもちろんですが、もう一つ目的がありました。来年度から再来年度に向けて、参道がやり直されます。6センチほど削りまして、コンクリートを敷き詰めて、石畳風になります。鎌倉の鶴岡八幡宮の参道と建長寺（けんちょうじ）へ行ってまいりました。普段は足元を見ないのですが、今回足元をじっくり見てまいりました。来年度、再来年には完成する予定です。



設楽 正行 会員：小泉会員と同文



諸岡 靖彦 会員：今週明けの6日（月）日本経済新聞の36面（「私の履歴書」の右脇）文化欄に、＜千葉氏ゆかり いざ追跡＞ ◇源頼朝に「父」と言わしめた豪族、全国にちらばる◇鈴木 佐（すずき・たすく＝千葉氏研究家）さんによる啓蒙記事でした。全国版のこのコラムに掲載された意味は大きいと思います。地味なコラムですが、滋味のある各地、各分野の文化情報をつたえています。地域の歴史、民俗文化は大切です。私も鈴木さんと動機は違え、千葉氏に魅せられた一人です。千葉開府890年だった昨年8月、千葉市で開かれた「千葉氏サミット」につながる鈴木さんの思いと同じものを、多くの千葉県人にも共有して欲しいと考えています。

◇ 会長挨拶

石川 憲弘 会長

毎晩テレビで放映されております、ワールド・ベースボール・クラシック皆さんはご覧になっていらっしゃいますでしょうか？現在行なわれている一次ラウンドで、日本はキューバ、オーストラリア戦に勝利して二次ラウンド進出を決定づけました。オーストラリア戦でホームランを打ちました筒香選手と中田選手の4番、5番の迫力はこれまでにないスケールの大きさを感じます。スポーツは世界共通の人類の文化だそうですが、心を無にして我を忘れて真剣に戦う姿に心を打たれるのは私だけではないでしょう。



今日は月桂樹例会です。後程卓話にて月桂樹の木がどうして栗山公園に植樹されたのかその経緯について近藤会員よりお話をいただきます。が先日、市役所に行きました帰り栗山公園によって、月桂樹の木、桜の木を見てきました。月桂樹の木に元気がない様に見受けられ、よく見るとカイガラムシがついていました。桜の木は植樹した時よりも数倍幹が

太くなり元気そのものです。4月、5月頃になりましたら月桂樹の木、桜の木の芽も出てくると思いますので、その頃に消毒した方がよいのかと思いました。今年度は会長として責任を持って、我が家の庭の手入れをお願いしてあります植木屋さんに消毒、肥料をやるようお願いしておきます。そして例年ですとお亡くなりになりました平山金吾元会員の奥様と、月桂樹の木の前で記念写真を撮るのですが、奥様から「植樹してから何年もたちます。今年は辞退させてください」と申し出があったそうですので、今年はこのような形になりましたのでご報告いたします。これにて会長挨拶とさせていただきます。

◇ 委員会報告

・親睦

諸岡 正徳 リーダー

3月24日に予定されております赤坂迎賓館ですが、35名の申し込みをいただきましたありがとうございます。当日のスケジュールを簡単にご説明させていただきます。9時半、京成成田駅コンフォートホテル前からバスが出ます。バスに乗車されない方は私か事務局までお知らせ下さい。集合場所は赤坂迎賓館の正門です。入場は全員揃って西門へ移動します。日比谷公園の中の松本楼で昼食となり、その後2時半から3時半まで赤坂迎賓館の本館、お庭を見学し3時半に終了、その後成田へ戻り懇親会の予定です。皆様お間違えないようによろしく申し上げます。



・ホームミーティング第6グループ 平野 省二 リーダー

ホームミーティングの件ですが、第6グループはベテランのメンバーばかりでロータリーについて話し合いをしたいと思っております。日にちは3月14日、火曜日、場所は上町の金時、6時から行います。現時点で10名の参加を予定しております。



◇ 幹事報告

吉田 稔 幹事

特になし

月桂樹例会に因んで

近藤博貴

1. 成田ロータリークラブの創立

創立総会 昭和36年3月16日(木) 成田山門前の第一信徒会館
チャーターメンバー 21名

第1回例会 昭和36年3月24日(金)

2. 成田ロータリークラブ創立50周年

☆記念式典

平成23年(2011)4月22日(金) 於 成田ビューホテル

外部参列者275名 会員と会員夫人82名 計357名

☆記念事業

- ・寄付金支出
 - 米山記念奨学会 50万円
 - ロータリー財団 41万円(5千ドル)
 - 成田山新勝寺 50万円
 - (山崎照義僧正の講演、雅楽部による舞楽)
- ・出版費
 - 「ロータリーへの道」 147万円 700部
 - 「50周年記念誌」 157万5,000円 300部
- ・植樹事業費
 - 桜苗木植樹 30万6,700円
 - 月桂樹植樹 12万2,750円
- ・記念碑建設費 100万円
- ・義援金支出 「希望の風」奨学金へ 350万円
- 参列者登録料 1万円×350名分
- ・地区大会記念ゴルフ 3月17日(木)実施予定 東日本大震災のため中止

3. 創立50周年記念碑の除幕式

平成23年(2011)4月14日(木) 栗山公園

記念碑の右側に桜、左側に月桂樹を植樹

三ノ宮埴生神社 宮崎廣一郎宮司により神事を行なった。

4. 月桂樹の由来

- ・昭和10年(1935)2月、ポール・ハリス夫妻がマニラで開催された第5回太平洋ロータリー大会に向う途中、日本に立ち寄り東京帝国ホテルに宿泊し、玄関前に月桂樹を植樹した。現在は初代の月桂樹の2世が玄関前の庭園に植えられている。
- ・成田RCが記念植樹した月桂樹は、初代の枝の挿し木の4世である。この木は桐生西RCの井本上輔元会員から譲り受けた。

5. 記念誌「ロータリーへの道」の発行

- ・初版 昭和61年(1936)6月22日発行 成田RC創立25周年記念
- ・改訂版 平成5年(1993)6月30日発行 RI第2790地区

- ・三訂版 平成23年(2011)1月15日発行 成田RC創立50周年記念
この本はポール・ハリスの自伝を柴田實元会員が翻訳したものである。
国際ロータリー発行の抄訳本などはあるが、全訳本は他にない。

月桂樹4世の由来

- 昭和10年(1935)2月9日
ポール・ハリスが東京帝国ホテル前庭に月桂樹を植えた。
- 昭和42年(1967)10月
帝国ホテル改築のため、月桂樹は東京RC矢野一郎会員(第一生命)により神奈川県大井町に移植された。しかし戦中、戦後の手入れ不十分のため枯死寸前であった。枝葉約100～300本を切り挿し木をしたが、すべて枯死した。そこで第一生命の子会社相互林園の小沢元之助氏に依頼したところ、同氏はアメリカから特殊ホルモンを取り寄せ、10数本の挿し木をしたところ7本が活着した。
- 昭和55年(1980)
7本のうち2本を次の場所に移植した。
 - ・帝国ホテル正面玄関に1本(月桂樹2世)
 - ・東京北の丸公園清水門に1本(〃)
- 昭和63年(1988)
桐生RCは創立35周年記念事業として、北の丸公園の月桂樹の枝葉を譲り受け挿し木した。(月桂樹3世誕生)
- 平成11年(1999)7月
桐生西RCは創立30周年記念事業として、桐生RCから月桂樹3世の枝葉を譲り受け挿し木に成功した。(月桂樹4世誕生)
- 平成23年(2011)4月
成田RCは創立50周年記念事業実行委員長平山金吾会員の発案により、桐生西RC井本上輔会員から月桂樹4世を譲り受け、栗山公園に建立した記念碑の両側に桜の若木とともに植樹した。
- 月桂樹の豆知識 くすのき科の常緑喬木、地中海地方の原産。雌雄異株。
高さは10数mになる。葉、実ともに芳香があり、月桂油をとる。

資料は井本上輔会員の小冊子「月桂樹物語」による。



先ず本日の例会が月桂樹例会と言われる理由からお話します。古い会員の方からは、また昔の話のむしかえしかと笑われそうですが、最近は新しい会員も多数入会されていますので、なにか参考になれば幸いです。

1. 成田ロータリークラブは、昭和36年(1961)3月16日(木)午後2時、今は取壊されてなくなりましたが、成田山の総門前の広場にあった第一信徒会館内の法話室(集会室)で呱呱の声をあげました。創立時のチャーターメンバーは、22名となっていますが、3月末、千葉銀行成田支店長松浦亀司氏が転勤のため退会したので、現在は21名となっています。平成16年夏取壊された第一信徒会館は、大正15年3月「蓬萊閣ホテル」として建てられ、成田では由緒ある歴史的な建物であったと思います。

成田ロータリークラブの創立については、千葉、佐原RCの2クラブが協力して設立準備に当たっています。千葉RCの杉本郁太郎特別代表は「クラブ創立までに足掛け3年かかった、善光寺のある長野のRCも大変難航した、由来聖地にはロータリークラブは不毛かと思った」と創立10周年記念誌に祝辞として寄稿されています。

2. 創立50周年を迎える平成19年11月末、成田ロータリークラブ創立50周年記念事業実行委員会を立上げ、委員長には平山金吾会員、副委員長に豊田磐会員、委員には11名のパスト会長を指名しました。また次年度から記念事業基金として各会員から年間2万円ずつを積立てることを決定しました。

明日は平成23年3月11日に東日本大震災が起きてから6年になります。

6年前のこの日は、Uシティホテルで新入会員の歓迎と研修を兼ねた会が行なわれる予定でしたが、当然のことながら中止となりました。

翌々日の13日には、急遽米屋観光センターで臨時に記念事業実行委員会を開催しました。議題は今回の大地震に際し50周年記念式典、行事を計画どおりに行なうかどうかでした。記念式典、行事はすべて中止する。記念式典のみ実施し祝賀会は行なわない。1か月位様子を見てはどうか。判断は実行委員会に任せるなどいろいろな意見が出ました。

平山金吾記念事業実行委員長は、50周年という節目であり、記念式典と祝賀会は是非行ないたい、厳粛な演出を行なう必要があり、アトラクションとして計画していた成田高校のダンス部、トッテイの会の音楽は取りやめる。ただし、式典冒頭の成田山雅楽部の舞楽のみ行なう。記念ゴルフ大会は中止する。式典は極力簡素化にして生じた余剰金は被災地への義援金としたいという決定をくだしました。

記念事業は、レジュメに示した計画どおり実施しました。その他経費、祝賀会費、ゴルフ大会賞品代などで、500万円ほどの支出がありましたが、記念式典実施の積立金などでまかないました。義援金は参列者275名、当クラブ会員、夫人分82名計357名の登録料357万円うち350万円をガバナー会に拠出しました。この義援金は、銚子ロータリークラブ出身の織田吉郎パストガバナーの努力により、「ロータリー希望の風」奨学金として、東日本大震災の孤児のため使用されています。

3. 創立50周年記念碑は成田市の協力を得て栗山公園に建設し、碑の右側には桜の若木を左側にはポール・ハリスゆかりの月桂樹4世を植樹しました。

除幕式は4月14日に行い、三ノ宮埴生神社宮崎廣一郎宮司により厳粛に神事を行いました。

4. 月桂樹は平山金吾記念事業実行委員長が発案で、桐生西ロータリークラブ井本上輔元会員の下にあったものを譲り受けたものです。

昭和10年(1935)2月、ポール・ハリス夫妻がマニラで開催された第5回太平洋ロータリー大会に向う途中、日本に立ち寄り東京帝国ホテルに宿泊し、記念として月桂樹を植樹しました。現在は初代の月桂樹の2世が玄関前の庭園に植えられています。成田RCが記念植樹した月桂樹は、初代の枝の挿し木の4世です。この木は桐生西RCの井本上輔元会員から譲り受けましたが平山金吾会員がどんなルートで桐生西RCに月桂樹があるという情報を得たのか聞き漏らしてしまいました。譲受けのため桐生西RCには平山会員と石橋会員、松田会員が同行されたようですので、その辺の事情をご存知かも知れません。月桂樹の由来については再度お話しします。

ポール・ハリスが植樹した月桂樹は、昭和42年(1967)10月帝国ホテルの建物を改築するため、移植されることになったので、東京ロータリークラブの矢野一郎氏は、太平洋戦争中手入れされず枯死寸前になっていた月桂樹の枝約300本を切って、数社の園芸会社に挿し木を依頼したがほとんど枯れてしまったということです。そこで第一生命の子会社相互林園の小沢元之助に依頼したところ、同氏はアメリカから特殊ホルモンを取り寄せ、10数本の挿し木を試みたところ奇跡的に7本が活着し、その後この7本の2世うちの1本が現在帝国ホテルの玄関前に植えられています。7本の月桂樹のうち6本が次の土地に植えられているそうです。

米山梅吉記念館1本、小田原市二宮金次郎記念館1本、帝国ホテル正面玄関1本、北の丸公園清水門1本、第一生命本社2本です。昭和63年桐生RCは創立35周年記念事業として、東京RCの了承を得て北の丸公園の月桂樹の枝葉をもらい受け3世を育てました。平成11年井本氏は創立30周年記念事業として、桐生ロータリークラブから月桂樹の3世の新芽を分けてもらい、これを挿し木して4世の苗木を作ったということです。

当クラブではこの5年間、100周年記念碑の傍らに月桂樹を植えたことを記念して、3月の例会の1回を月桂樹例会としてきました。

5. 月桂樹は地中海地方の原産で、葉は硬く濃い緑色。春にはうすい黄緑色の花をつける。実は楕円状球形、葉、果実とも芳香があり、月桂油を取る。雌雄異株。地中海性気候は夏に雨が少なく乾燥し、冬は比較的温暖で雨が多いという。日本の気候とは違うので育ち難いかも知れません。

古代ギリシャで月桂樹の枝葉を月桂冠として、競技の優勝者に贈っている。

6. 記念誌「ロータリーへの道」の発行の経緯について説明します。

当初、柴田實元会員が全訳されました。全訳本はこの本しかなく、国際ロータリーは抄訳本を発行しています。最近国際ロータリーの承認を得て、甲府北ロータリークラブがこの抄訳本を再版しています。柴田實元会員は昭和17年慶応大学法学部を卒業、26年フルブライト交換留学生としてインディアナ大学、シカゴ大学に留学、日本航空、東京航空食品、日本食材の社長を経て、昭和56年成田RCに入会しました。その後ポール・ハリスを知り、渡米した際シカゴを訪ねてロータリー関係の場所を訪

れたようです。そのとき昭和56年(1981)に再販されたポール・ハリスの自叙伝「My Road to Rotary」の原本を入手して翻訳を始めたものと思います。
初版本は柴田實元会員がワープロを使用して原稿を作り、オフセット印刷で発行しています。ワープロの使用ではてこずったと書いています。

7. 「ロータリーへの道」の中からポール・ハリスについて少し触れます。

ポール・ハリスは1868年(明治元年)4月19日、シカゴの北約95kmにあるウィスコンシン州ラシーン市で誕生しました。ラシーンはミシガン湖の沿岸の町です。ポール・ハリスの母コーネリアの父は弁護士で、ラシーンの第2代市長を務めるほどの名士でした。父ジョージは社交的な性格で、祖父の援助で経営していたドラッグストアの事業に失敗し、父は長男のセシルと次男のポール(3歳)を連れて、バーモント州ウォリングフォードの祖父母の家に帰り、祖父母に預けることになりました。母は妹のニーナを引き取り一家離散の状態でした。あとでセシルは母方の伯母に引き取られたが、ポールは高校卒業の18歳ごろまでウォリングフォードの祖父母のもとで育てられました。ポールは小さいときから気が強く、いたずら小僧のガキ大将であったとようです。少年時代ウォリングフォードで経験した数々の思い出は、のちにシカゴでロータリークラブを作る発想につながったと考えています。



出席表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
72	69	44	25	63.77%	68.47%

MAKE UP CARD

氏名	月日	クラブ名
諸岡 靖彦 堀口 路加 各会員	3月12日	地区 RLI パートII 研究会

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700
成田ビューホテル内
電話/FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル
電話 0476-32-1111
例会日 金曜日 12:30
例会出欠連絡先(直通)
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078